

令和元年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 宮古島市社会福祉協議会	代表者	饒平名建次	法人・ 事業所 の特徴	社会福祉協議会が運営する事業所で、住宅地から離れており自然豊かな環境でのんびり過ごせる事業所です。利用者の平均介護度は2.1と中軽度の方が多く、半数以上を認知症の方が占めており、認知症ケアを主に、「本人らしさと笑顔を大切に感謝の気持ちを持ってケアします。住みなれた地域とのつながりを大切にし安心できる環境作りに努めます」を理念に掲げて、地域に根差した事業所を目指している。
事業所名	宮古島市社協小規模多機能型居宅介護事業所たかやま	管理者	普天間直之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4	1	1人	1人	1	2	2人	13

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○スタッフの顔と名前がわかる一覧表の作成 ○事業所の取り組みなどを活動報告やたよりを使ってわかりやすいようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ○スタッフの名前と顔がわかる一覧表の作成が出来ていない。 ○事業所の取り組みが分かりやすいように、たよりに写真などでわかりやすいように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○顔出しがNGなスタッフは名前だけでもいい ○一覧表は何処に貼る？ ○玄関じゃなくて、少し入った所とかは？ ○他の事業所とかは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○スタッフの一覧表の作成 ○事業所周辺の照明は引き続き市と相談していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所周辺の街頭を追加してもらうよう宮古島市に申請を行い、夜間安心して地域住民が行き来できるようにする。 ○事業所内の網戸や照明などを検討していく 	<ul style="list-style-type: none"> ○出来ていると思います。 ○家族会や夏祭りなど家族が来る機会を作っているから。 ○一日中利用者は、椅子に座っているの？ ○夜はカエルが大量に出てくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ここは、静かだね ○センサーで感知する照明をつけたら？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所周辺に街灯を宮古島市に相談したり、センサーライトなどを付けて少しでも夜間安心して地域住民が行き来できるようにする。 ○事業所内が明るくなるように照明や蛍光灯の種類などを検討していく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○たかやま夏祭りは継続して行うが、広告や夜の照明など改善を行う。 ○各地域などの会合やイベントに積極的に参加して地域交流を行う。 ○地域福祉課との連携を図れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏祭りの参加者は子供だけで54名以上参加してくれました。 ○公民館などの交流が不足している。 ○地域の行事の把握が出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏祭りの広告がまだまだだと思う。 ○ソーシャルワーカーの方と協力して地域の困っている方を利用に繋げたりしています 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏祭りの継続と広告の仕方を改善していく。 ○各地域の会合やイベントの情報収集を行い、積極的に参加していく。

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>○自治会や民生委員の集まりに参加し情報収集し、イベントや行事に積極的に参加する。 ○地域福祉懇談会などを開催や参加して、地域の方との情報の共有を行う。 ○社会福祉協議会内の横の連携を取れるようにする。</p>	<p>○運営推進会議も地域の会議に入るのではないですか？ ○ボランティアの方が利用に繋がったというのは、利用者以外の心配な方に入るのでは？</p>	<p>○ドライブやピクニックなどイベントを行い、事業所内だけで閉じ込めないようにしています。</p>	<p>○自治会や民生委員の会議などの参加がまだまだ来ていないので、参加して地域の心配な方などの情報を収集出来るようにする。 ○外出するイベントやドライブを増やし、事業所内に閉じ込めないようにしていく。</p>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<p>○事故報告だけでなく、事例検討の報告も行い意見を頂く。 ○利用者だけでなく地域の心配な方も会議の議題にあげて話し合う。</p>	<p>○たかやま内でなく、運営推進委員の方からも、事例検討等がもっとあげられるようにした方が良い。</p>	<p>○運営推進会議で利用者の対応を話し合い支援に繋がっています。</p>	<p>○たかやま内でなく、包括や運営推進委員の方からも、事例検討等があげられるようにする。 ○事業所の取り組みがわかりやすいように活動報告やたよりを工夫する。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>○災害時の備蓄品の再確認 ○災害時の避難者受け入れを市の担当と連携を強化する。</p>	<p>○災害時の備蓄は期限もあるので難しいですね？ ○ソーメンは良いですよ。 ○避難者は何名ぐらいいますか？</p>	<p>○ここは福祉避難所になっていますが、登録者の情報が教えてもらえません。 ○夜間帯を想定した避難訓練は1人で4人を避難させるので、5分以内は厳しかったですが、1秒でも早く避難できるように、改善していきます。</p>	<p>○災害時の備蓄の再確認 ○避難訓練を繰り返し行い、改善を目指す。</p>